

Logo

それは1997年 京都から始まった

市民とともに取り組む
仏教者の環境活動実践例

2021/11/15 仏教気候変動研究会

大河内秀人

国際協力から足元の活動へ

- 1980年 法学部政治学科を卒業し、浄土学に3年編入
「平和」と「浄土」
- 1982年 浄土宗伝宗伝戒、仏教系青少年育成団体に就職
全国各宗派の青少年教化実践者との出会い
- 1986年 教区浄土宗青年会事務局長としてユニセフ募金活動
ブータン、カンボジア訪問を通して「救援」に疑問
- 1987年 国際協力NGOのボランティア開始

苦しみの側に立って初めて見える暴力の構造

カンボジア、タイ、ラオス、ベトナム、バングラディシュ、
パレスチナ、イスラエル、レバノン、ルワンダ、……

思い込まされていたことと現実の違い

戦争、貧困、健康被害、環境破壊、人身売買、……

苦しみには原因があり、私の生き方と無縁ではない

南北問題

不当な搾取、格差の拡大

不当な支配に抗う目覚めた人々

住民参加による地域の自立

持続可能な循環型社会

信頼のコミュニティづくり

四諦八正道の実践

苦

現実の問題・人々の苦しみとのかかわり

集

原因とメカニズムの解明

滅

苦が取り除かれた理想的な状態
／ビジョン

道

自分のかかわりを自覚した活動

NGO 市民社会の担い手

問題との出会い・共感

原因とメカニズムへの理解

明確なビジョンへの共働

持続可能なシステムへ



苦・集・滅・道に根ざした
菩薩道の実践

グループ KIKI

江戸川区在住在勤者による環境・平和運動グループ

- ・平和パレード
- ・空き缶回収、生ごみたい肥化
- ・勉強会、政策提言
- ・国際NGOとの交流、参加

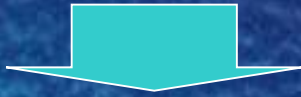
毎年夏にキャンプ

都会の生活を支える(犠牲になる)地域の人々との交流
ダム・原発・ゴミ処分場 等の立地



アルミ缶回収から見えてきたこと

一次産品価格の下落 なぜ??



生産国の重債務 原価を割っても吐き出し



構造調整による生活困窮と自然破壊



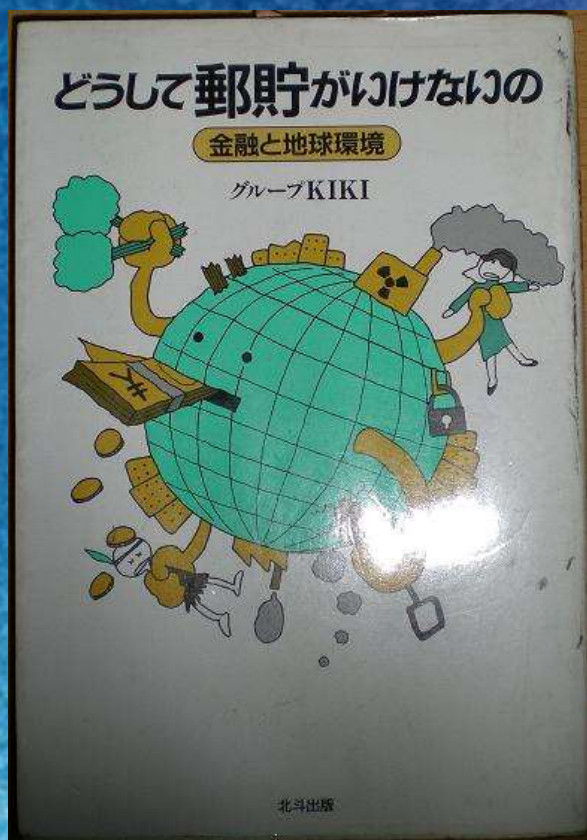
金貸し援助 (ODA・世界銀行等)



財政投融资 原資は郵貯・簡易保険

未来に役立つお金のしくみ

- 私たちのお金が人々を苦しめている
- お金を預ける側の責任



自分たちの資金を
命を苦しめることなく、
有効に役立てたい

「未来バンク」
の設立

寺院とも縁の深い マイクロクレジット

- 無尽・頼母子講
- 米銀行・牛銀行

キーワード

信頼

コミュニティ

小松川市民ファームの開設

- 菩薩道の実践を応援する
- 志しある人々が集い、活動する拠点
- 違う分野の活動との交流の場



寺院の敷地の一部を
総代の土地の隣接地と
交換し、

さらに等価交換で建設
した取得ビルの1室(4
5坪)を取得

当初一部を国際NGO
の事務所として提供

- 地域のNGOのネットワークづくり
- お互いの活動を通して学び合い
- タイムリーな問題への対応と学び
 - 区長選立会い演説会
 - 東海村臨界事故
 - COP3
 - 子どもの権利条約連続学習会
 - 9.11テロの背景と今後の世界
 - えどがわ水俣まつり

課題の共有
新たな組織

共通のビジョン = 市民社会

「市民社会」の担い手を支援する

「市民」とは、
縁起の世界に生きる自覚を持ち
主体的に社会参加する人々

既得権益や
マネーに支配
される社会



人権や環境、
が尊重される
民主的な社会

1997 COP3

- ブラジル環境サミット以来の環境国際会議
- 環境問題が注目されるが、一時的なもので終わってしまっ
てはいけない
- 温暖化問題を一人ひとりが意識し、考えて行かなくては
意味がない
- 江戸川区民として取り組むべきことは何か

足元から地球温暖化を考える

市民ネットえどがわ

略称：足温（そくおん）ネット の結成

足元から地球温暖化を考える市民ネットえどがわ

まずは学習会から

- 何が起こり、何が問題なのか
- その原因は何か
- 私たちがまずできることは何か

省エネキャンペーン

自動車フロン回収

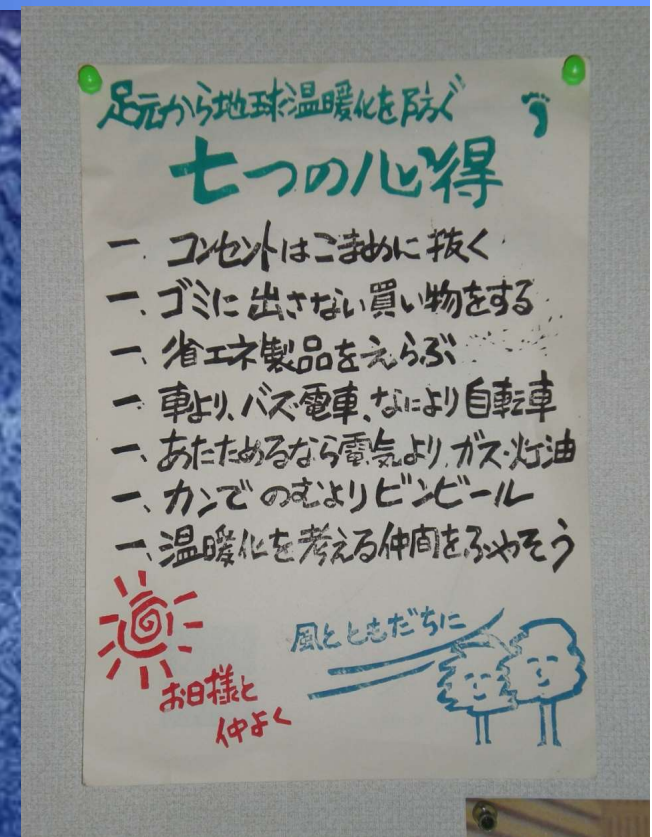
- 江戸川区、解体業者との協力事業

COP3に参加

- 区内小学生による環境ポスターの展示
- 江戸川区環境部と合同でカウンターカンファレンスを開催して日本のフロン回収の実情をアピール
- 揚水発電ダムに関するシンポ

江戸川油田開発事業

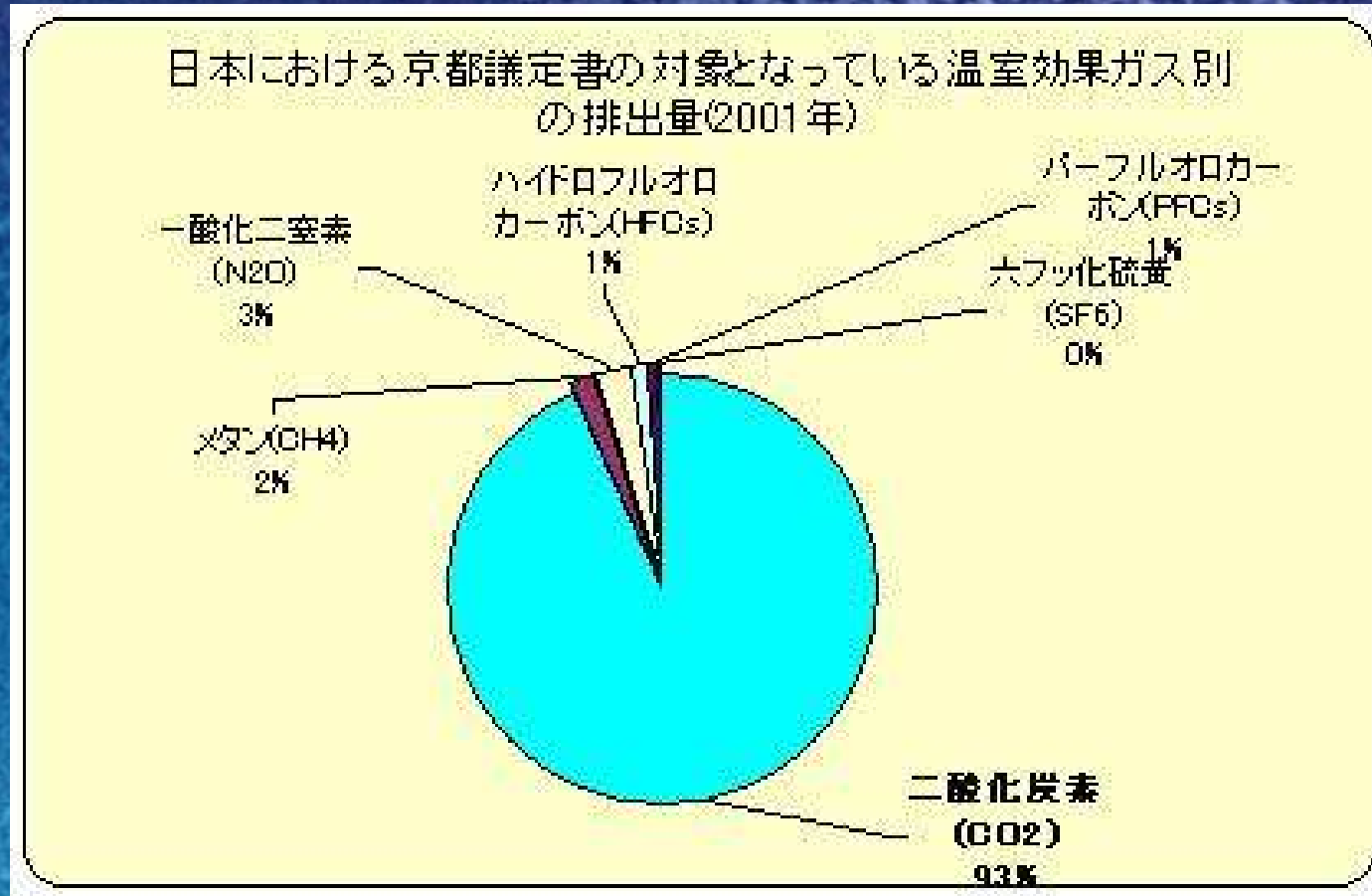
- 食用油を回収してバイオディーゼルに







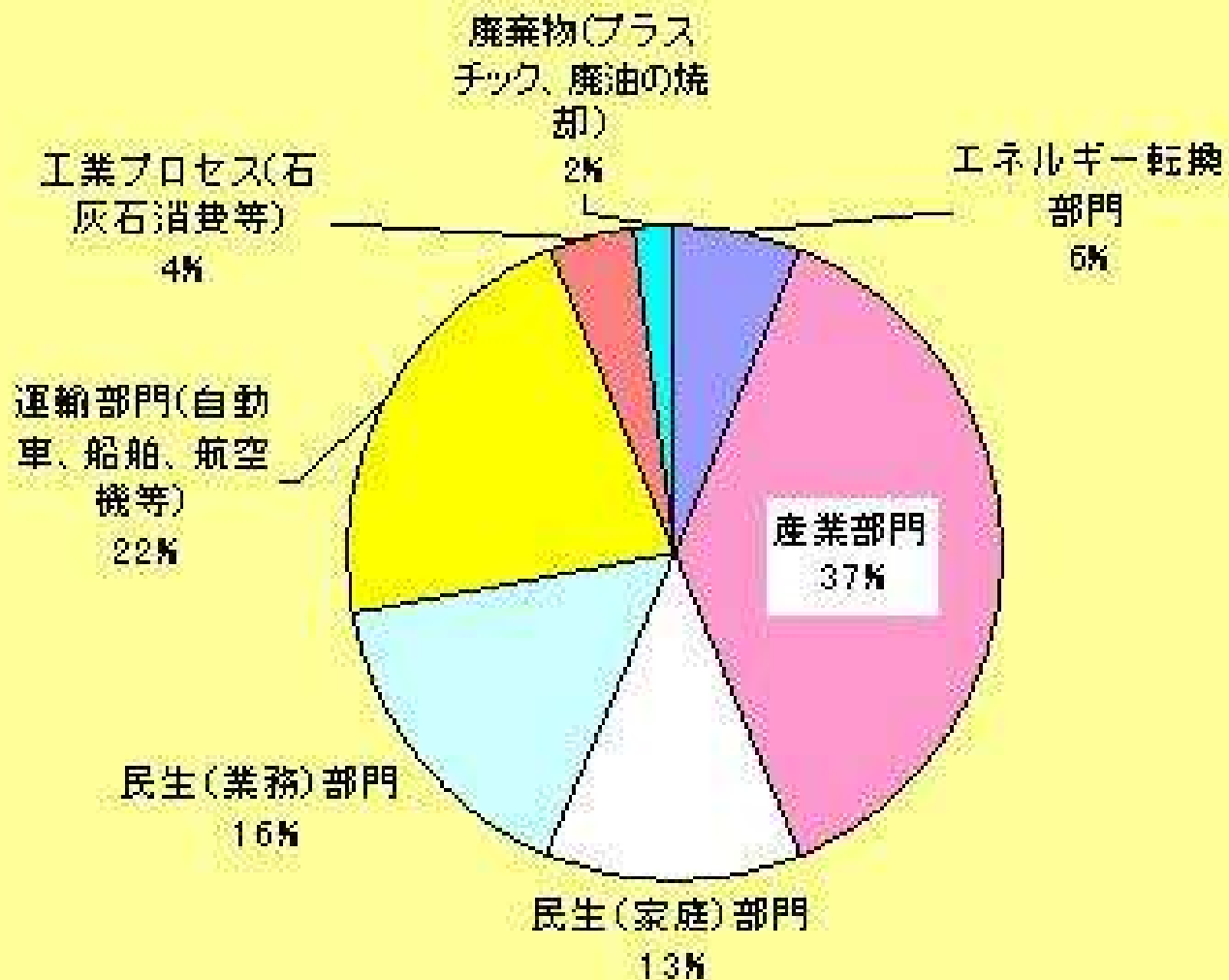
温暖化を進めているガス



- 二酸化炭素がその大半を占める。
- 重要なのは大きな原因から対策することである。

家庭からの排出は全体の8分の1

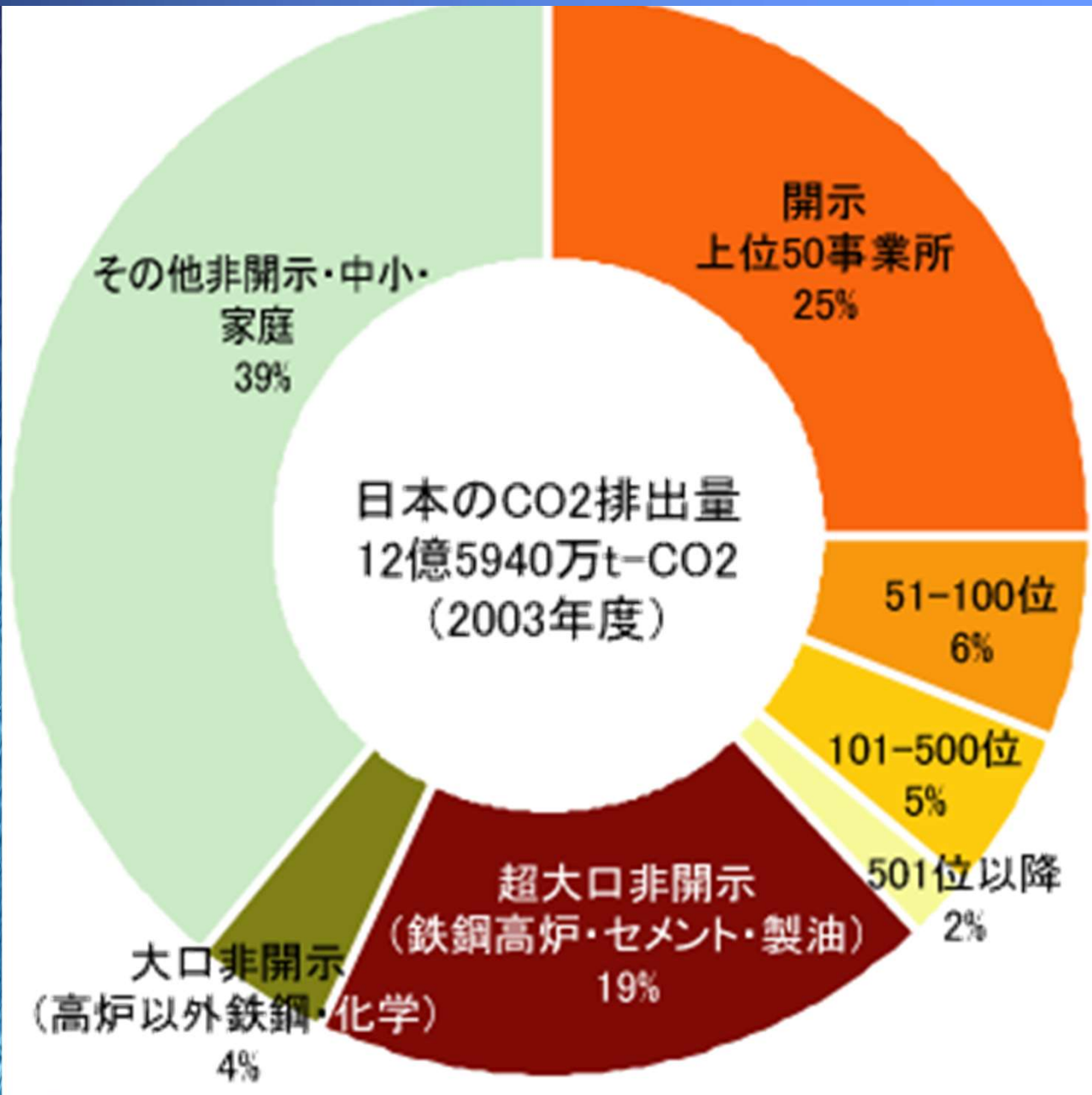
日本の部門別二酸化炭素排出量とその割合(2001年)



そもそも誰が出しているのか？

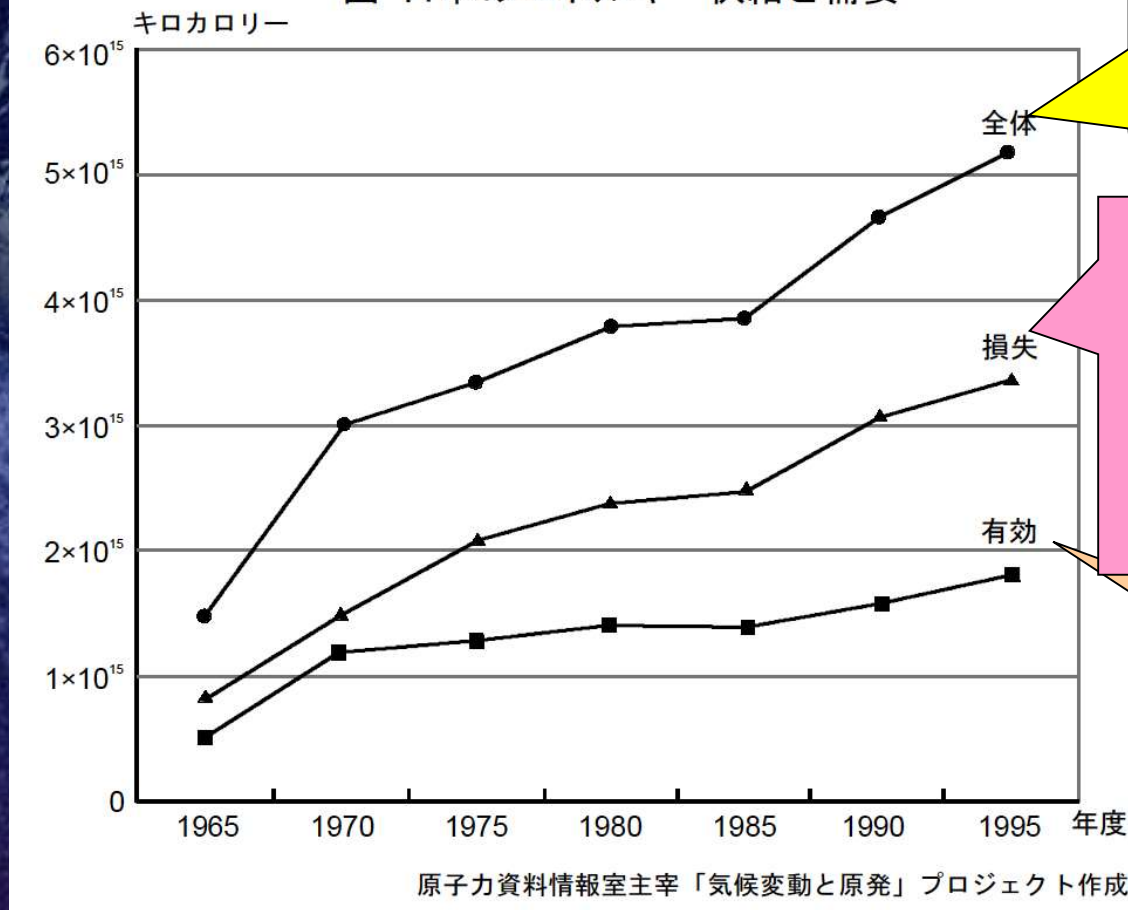
社会システム全体の働きかけが最重要

- 開示された上位100事業所で、日本全体の排出量の25%を占める。
- 開示していない「鉄鋼・セメント・製油事業には大規模なものが多く、しかも大量に排出している。
- 合わせると、上位200事業所で排出量の半分を占める。



日本のエネルギー消費とその内容

図 日本のエネルギー供給と需要

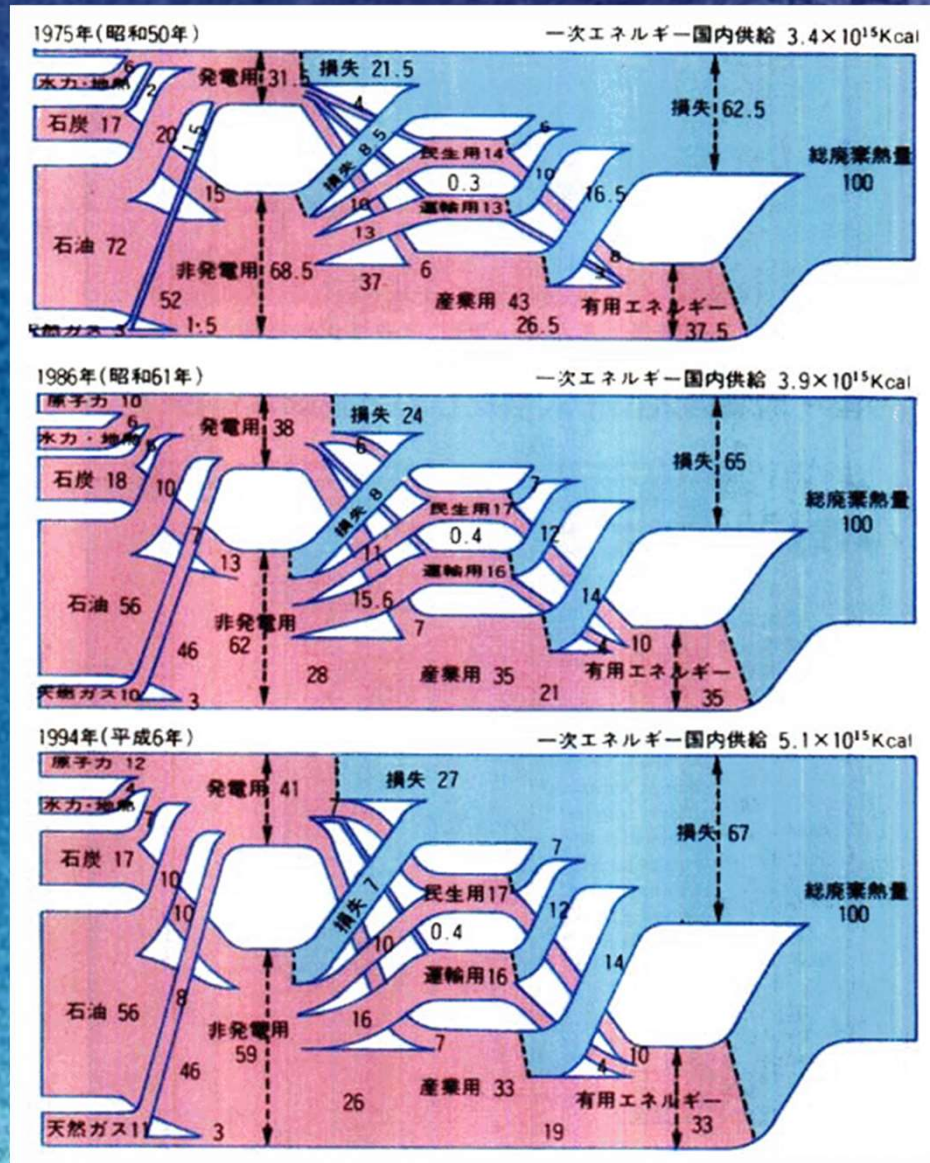


たしかにエネルギー全体量は増えた

増えたのは損失だった！
エネルギーは無駄になっていた！

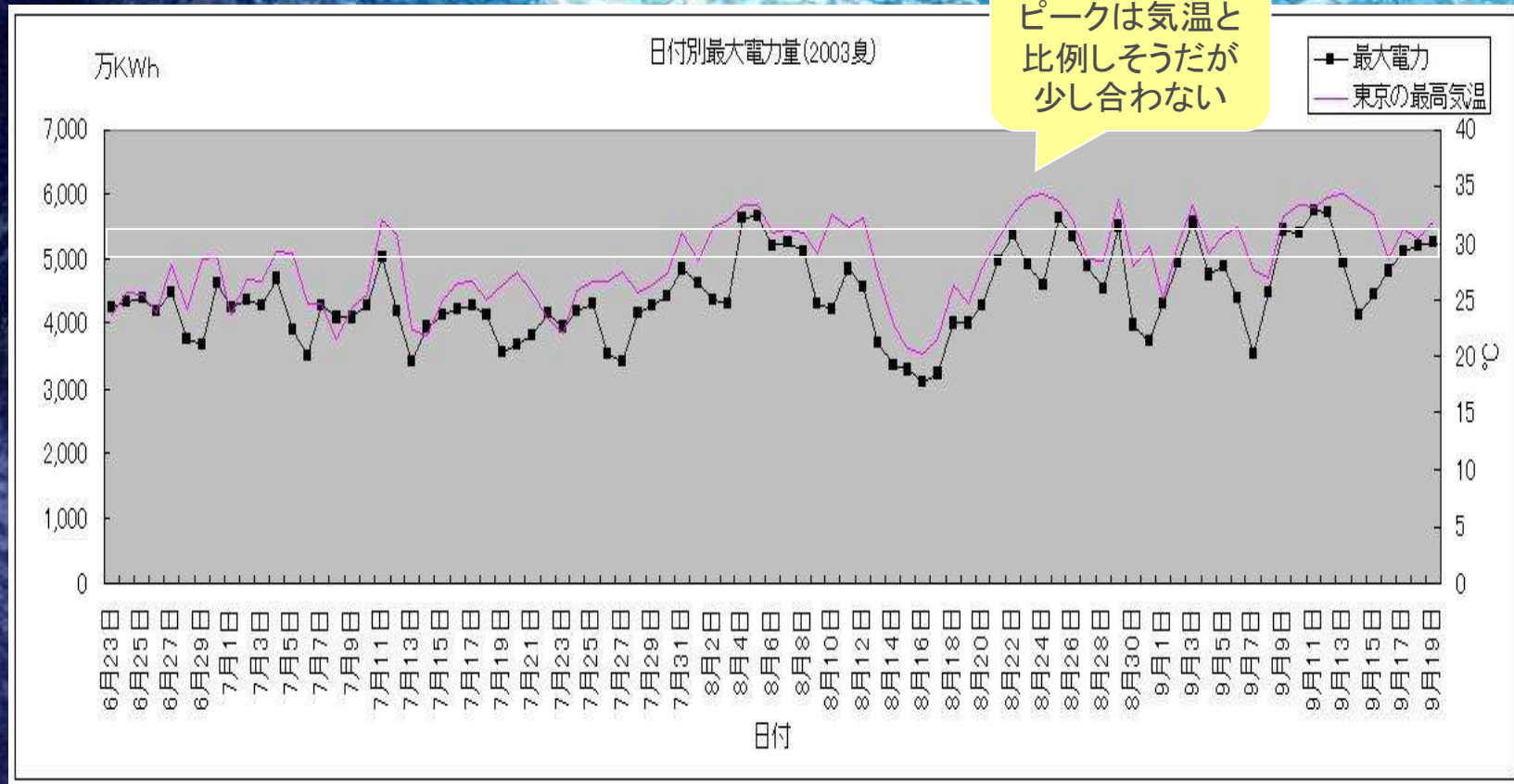
しかし
有効な需要は
増えていない

損失を増やしているのは電気



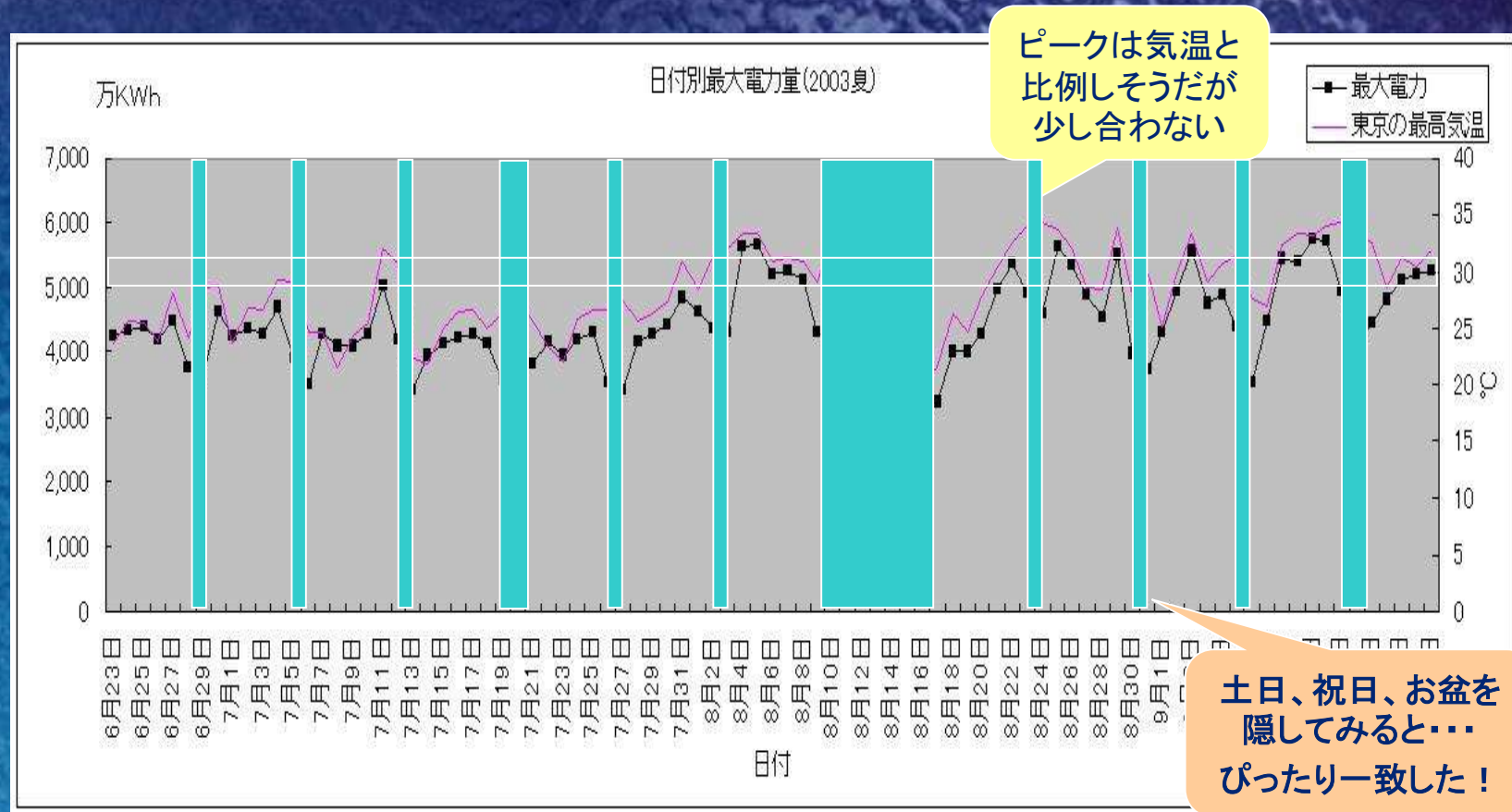
- これは環境白書にあるグラフ。
- これによると、発電部分が最もエネルギーをムダにしている。
- これは原子力発電のエネルギー効率が良くないこと、加えて蓄電施設である揚水発電が電気をムダに消費するためと思われる。

電力ピーク需要は誰がつくるか？



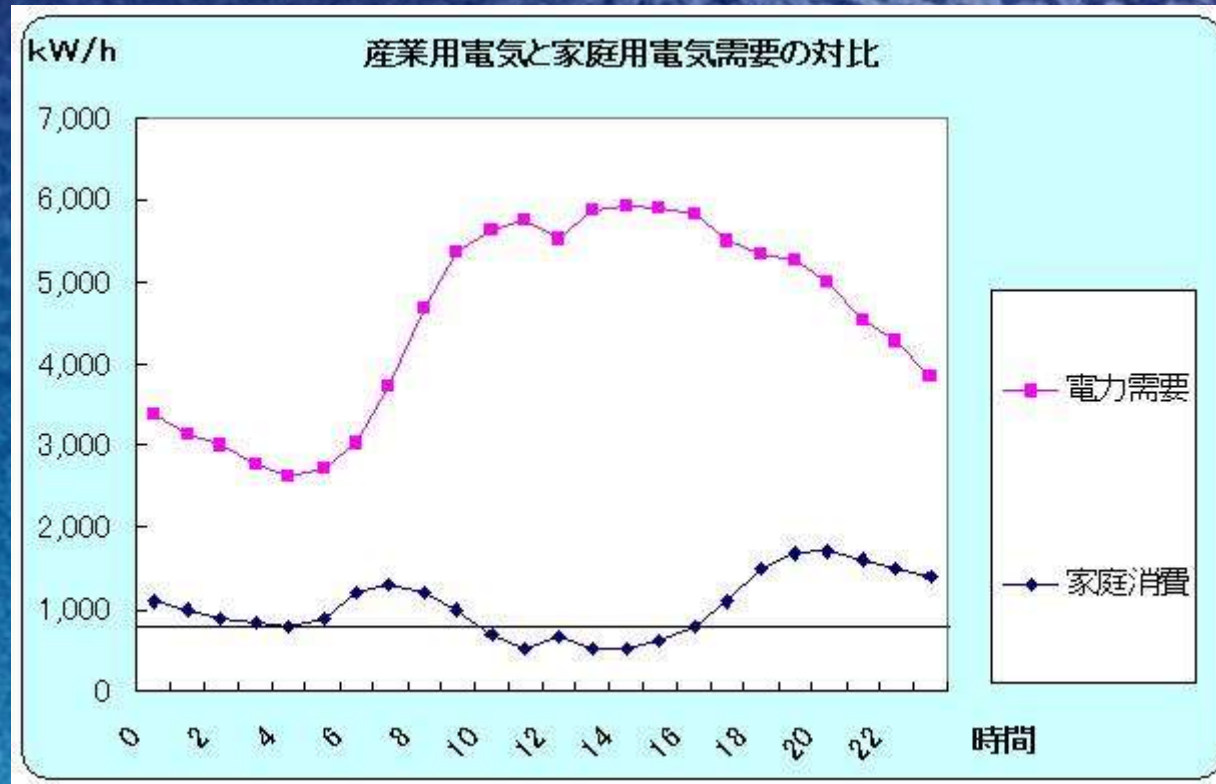
夏休みに、冷房の効いた部屋でビールを飲みながら
みんながテレビで甲子園を見ているとき??????

東京電力ピーク需要の特徴



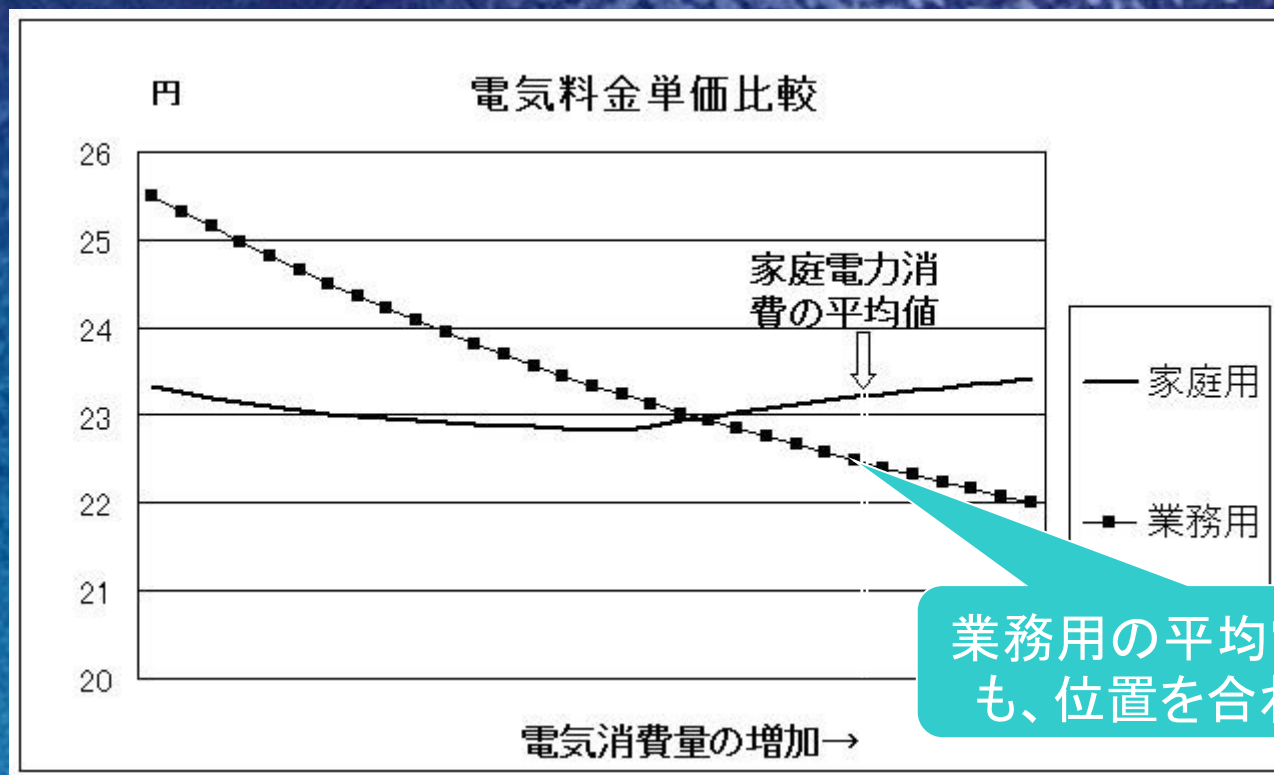
平日、日中、午後2-3時、気温31°C以上のときにだけ、ピークが出ている！

家庭と産業の電気を使う時間



- ピークは一年間8760時間の内の10時間もない。
- ピークを作るのは家庭ではない。
- 家庭で省エネしても、停電のような事態を防ぐことはできない。

なぜ産業はピークをつくるのか？



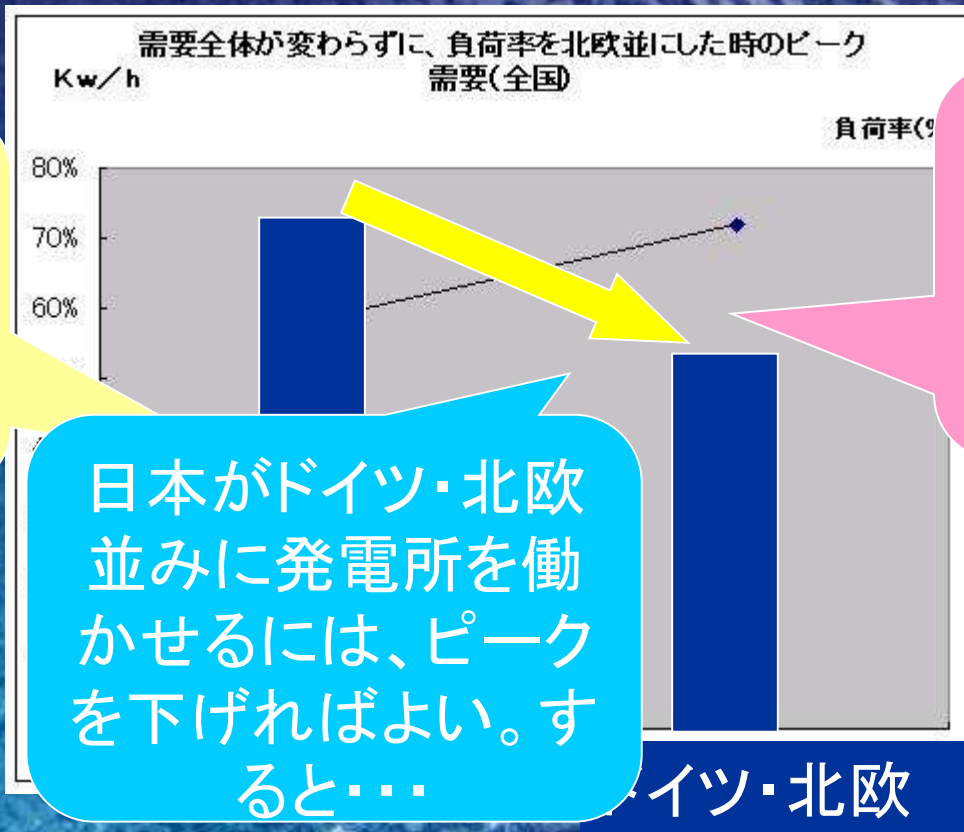
- 同じ一月の中で、家庭は使うほど単価が高くなるのに、産業では安くなる。だから消費量が増える。
- 電気料金の仕組みを変えれば解決できる。

電力ピークを下げれば無駄な設備は不要になる

日本の発電所は
58%しか働かない

日本がドイツ・北欧並みに発電所を働かせるには、ピークを下げればよい。すると…

ドイツや北欧では
72%も働いている！

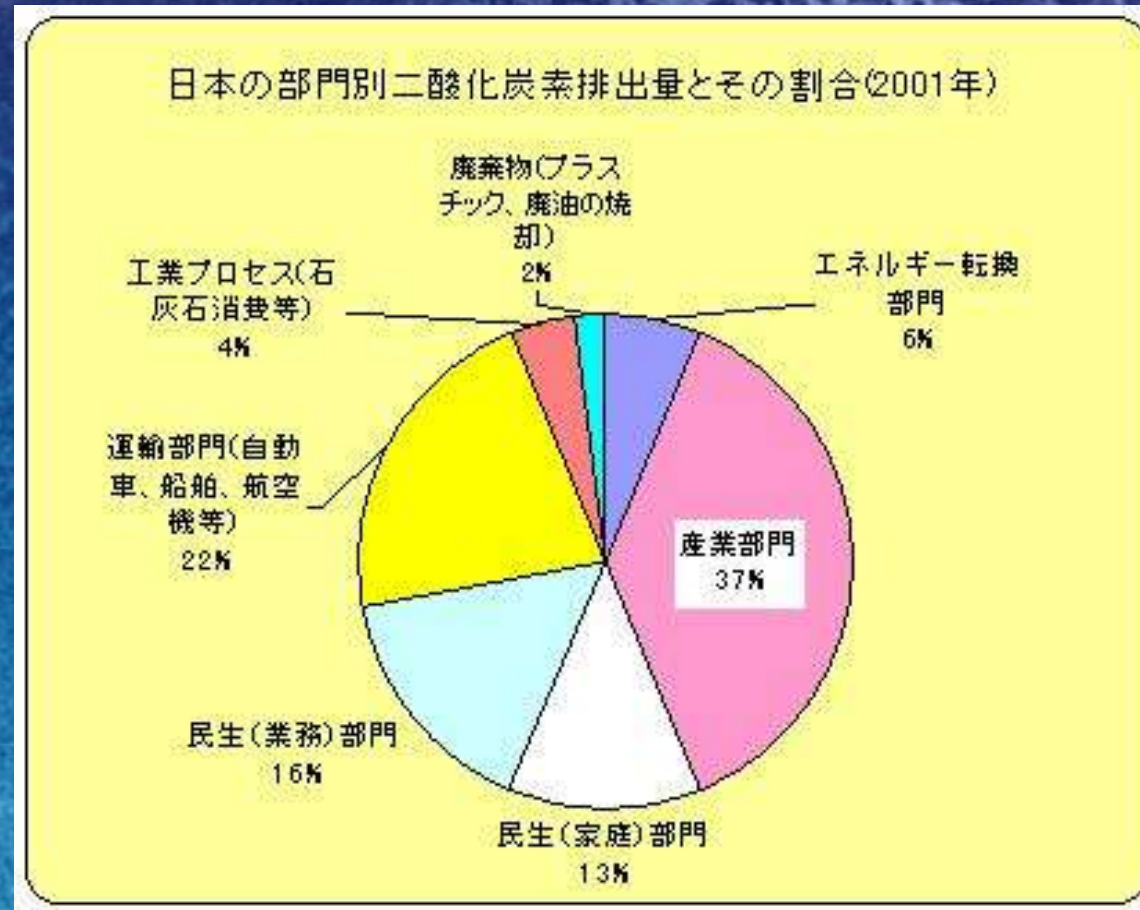


本

夏の平日、午後2時から3時、気温が31℃を越える日は、
産業の電気料金を高くしよう！

- ・ 同じ電力消費量のままだでも、ピーク電力の25%の発電所はいらなくなる！ 原発の設備量は全部で22.3%。

最終的に誰の消費なのか



- 家庭のライフスタイルが問題にされるが、現実には家庭の消費部分は全体の1/8程度である。
- 産業消費をいかに減らすかが解決のカギになる。

市民立発電所を設立

- ピーク時に有効な自然エネルギー
- 普及させるための仕組みを
- 1999年7月第一発電所
 - * 出力5.4kW(新設)
 - * 建設費用590万円
 - 助成金、寄付(太陽かわら寄進)、
未来バンク融資、電気代前払い
 - * 建設場所が学校からお寺に
 - 公的機関では自分たちで管理運営できない
 - お寺は「共」的機関
- 2007年8月第二発電所
 - * 出力3.0kW(中古)
 - * 建設費用115万円
 - * 高齢者グループホームに



自分たちでパネルをつけた



市民立・江戸川第一発電所

えどがわ産・グリーン電力証書

この環境に優しい電気は江戸川区でとれました。
この電気はCO₂を排出したり、放射能を出す発電方法で作られていません。

EDOGA-WAT 30kWh



コミュニティ通貨

10 kWh
えどがわっと

私は「安全な電気」を選びました。
このカードは、えどがわっと会員間で
10kWh分の『借り』を証するものです。

★グリーン証書は1000円で30kWh分です。

ありがとうございます。私の名前は _____ です。



東京都江戸川区東小松川三丁目三十五番地十三号 二〇四号
特定非営利活動法人
足元から地球温暖化を考える市民ネットワーク・えどがわ

二〇〇一年七月五日

大河内 秀人 様

あなたは、二〇〇〇年七月五日から二〇〇一年七月四日までの
一年間に「市民立・江戸川第一発電所」が太陽光で発電したグリ
ーン電力のうち、三〇キロワット時を購入したものとします。



金魚と江戸風鈴は、江戸川の特産です。

2001 9 19

自然エネルギーを普及させるしくみ

発電した電気をプレミアム料金で販売

- ドイツの自然エネルギー買取制度では1kwh当たり55円
- 日本の家庭の電気料金を22円との差額 33円/1kwhをプレミアム価格として30kwh 1,000円の証書を販売
- 心ある市民の人に設備費用を支えてもらう

プレミアム価格の合理性

- 化石燃料・原子力は、環境破壊、廃棄物処理などによる将来のコストは未知数
- 太陽光発電は、未来のコストを先取り

自然エネルギー買取制度の導入を社会にアピール

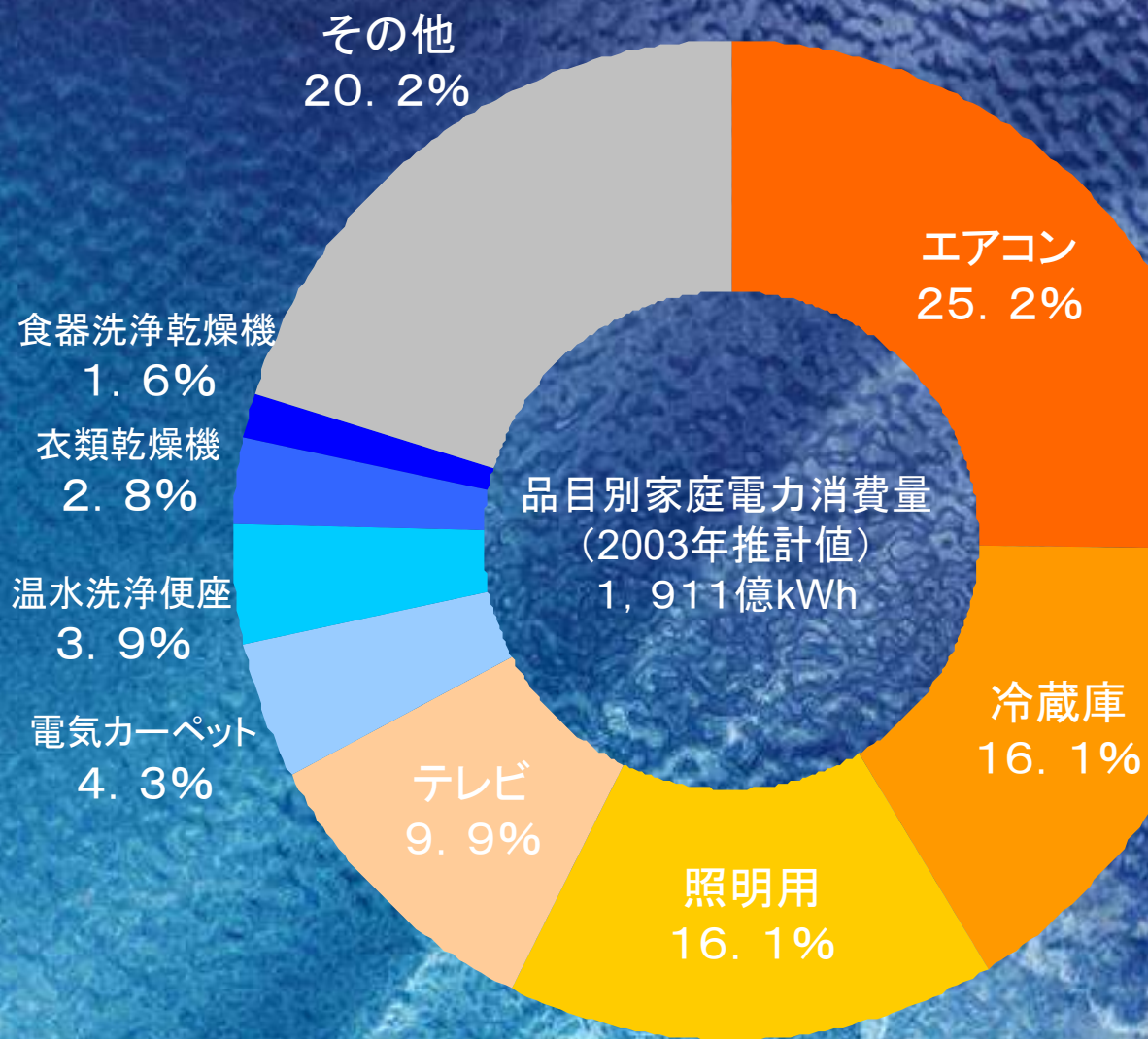
家庭での優先順位は電気と車

家庭からの二酸化炭素排出量
—燃料種別内訳—

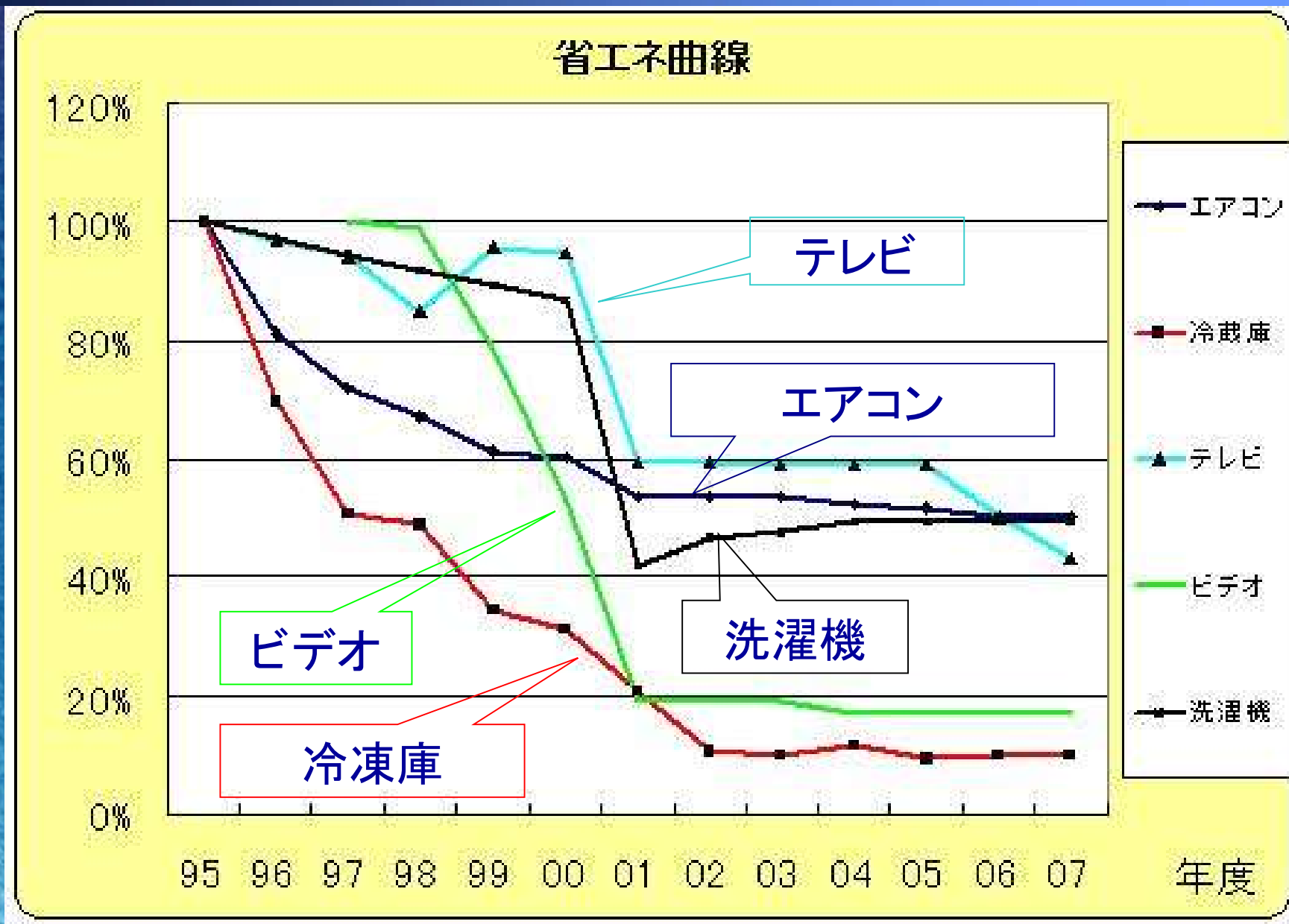


出典) 温室効果ガスインベントリオフィス
「日本の1990~2005年度の温室効果ガス排出量データ」
(2007.5.29発表)

家電四天王で約7割



家電製品の省エネ率



省エネ冷蔵庫に融資すると



表示法による表示

冷蔵庫 GR-S45MI(H)

| | | |
|--------|-------|----------|
| 消費電力量 | 50 Hz | 67 kWh/月 |
| | 60 Hz | 68 kWh/月 |
| 外形寸法 | 幅 | 741 mm |
| | 奥行 | 612 mm |
| | 高さ | 1800 mm |
| コードの長さ | | 2.45 m |

使用上の注意

- (1) 電源は必ずコンセントからおとりください。
- (2) 放熱をよくするため、なるべく周囲に適切な間隔をおいて設置してください。

省エネ融資の費用対効果の高さ

- 融資8件(70万円)の省エネ効果は
年間 **-7,830kWh**
- 7,830kWhというと？
 - * 家庭2軒分の年間電力消費量
 - * 出力8kWの太陽光発電設備の年間発電量
- **600万円**かけた太陽光発電設備の発電量
年間 **6,000kwh**



省エネ融資は**10倍以上**の効果！

家が電卓化する可能性

省エネが進めば、大規模な発電所は不要になり、
自然エネルギーによる自給自足も夢ではない

家庭が電卓のように、
自然エネルギーで自給できれば。



電卓を使うときにコン
セントは探さない。



2013年から全量売電事業「えど・そら」

1号機「寿光院」 10.58Kw

○疑似私募債 5,000,000円／無利子・10年後一括償還／出資者43名

2号機「ほっと館」 11.52Kw

○疑似私募債 4,000,000円／無利子・10年後一括償還／出資者34名

3号機「寿光院駐車場」 28.8Kw

○無分配出資契約 2,500,000円／無利子・5年後一括償還

○小松川信用金庫融資 3,000,000円／年利2%・8年返済

○足温ネット自己資金 1,000,000円

自立運転機能を生かし 災害時 地域への供給

オフグリッドハウス「松江の家」



古い2階建ての一軒家
子ども支援グループの
活動拠点



6枚(0.9kw)の中古パネルと
ゴルフカートの再生バッテリー6個
電力会社とは繋がず、
電気は完全自給自足



市民と協働し未来をつくる寺院の役割

智慧と慈悲で人と社会を輝かせる

公でも私でもない「共」の存在として

正しい「志」あるコミュニティ(檀家・市民グループ)を

育て、支えていくのが寺院の役目

真実を見極める目利きとなる

現場・苦しみの側に寄り添い、正しい社会変革
の志を持つ人々とつながる

三毒による支配からの解放